

いさごぜき  
砂子堰

資料は、梁川町土地改良区

かいりょうく

りょうぜんちょうし ほばらちょうし だてぐん れきし  
霊山町史・保原町史、「伊達郡の歴史」などの本で調べてみましょう。

取り入れ口は、<sup>かたかいやま</sup>霊山町の片貝山のふもとです。<sup>けんどうだて</sup>県道伊達・<sup>りょうぜんせん</sup>霊山線の<sup>いずみばし</sup>泉橋からも見えます。また、<sup>はいすいこう</sup>排水口は、<sup>けんどうつきだて</sup>県道月館・<sup>りょうぜんせん</sup>霊山線ぞいのあちこちで見られます。砂子堰の<sup>ひろせがわ</sup>排水口の<sup>ちようせつ</sup>水門があけられると、<sup>ひろせがわ</sup>広瀬川へ堰の水がもどされ、堰から水があふれないように調節しています。大雨のあとなど、川ぞいに気をつけてみてみましょう。



<砂子堰の取り入れ口>



<sup>はいすいこう</sup>  
<排水口>～大雨のときにここを開いて堰の水を川にもどします。



<sup>いしまる</sup>  
石丸公園  
砂子堰碑  
<堰の<sup>のりめん</sup>法面>～岩をけずったあとがのこる場所があり、碑もたっています。